
自転車

まゆ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自転車

【Nコード】

N2451A

【作者名】

まゆ

【あらすじ】

片想いで君をいつも自転車の後ろに乗せていた俺の恋は・・・

俺が君と2つきりになれるのは
帰りだけ。

だって、

2人は付き合っていないから。

仲良しグループで居る俺ら。

6人って言う大人数で
学校でも一緒

だけど、

帰りだけは

こっち方面は二人だけ。

だから、君は

僕の自転車の後ろに乗って、
家に帰る。。

「ねー、ゆかぁー？」

「なーにぃー？」

「お前彼氏とどうなのー？」

「ラブラブー」

そう。

ゆかには

彼氏が居る。他校だけど彼氏が居る。

俺はゆかがほしいのに、

ゆかは今は違う人のもの。

ゆかのあの小さな体は他人の腕の中に。

だから、

帰りに一緒に自転車で帰るだけ。

この長い長い下り坂を

君を自転車の後ろに乗せて

ブレーキいっぱい握りしめて

ゆっくりゆっくり下ってく

早く下ってしまうくだり坂も

俺の背中からの君の温もりを

いっぱい長い長い時間感じていたいから・・・

ゆっくり下っていくんだ。

あれカラ

毎日毎日

一緒だった。

帰りだけは2人だった。

俺はまた聞く。

「ゆかぁー」

「なにー?」

「彼氏と相変わらずラブラブなのー?」

「・・・」

「ゆかー?」

「別れた」

キキキー!!!

「ええ???!」

俺は思わず振り返る。

君は下を向いて

「別れた」

そう言った。

喜んでいいのか

わるいのか・・・

訳が分からず

俺は自転車をこぎだした

君を乗せて。。

そしたら

君の明るい声

が聞こえてきた

「ヒキキキー!!!」

「うええ?なんだよ」

「あたしきー」

彼氏と別れたのはー

好きな人が出来たからー」

「え、馬路でー？」

「ヒロなんだけどさー」

キキキー！！！！

「嘘??？」

思わず振りぬく

その瞬間

ホッペに柔らかい感覚が

チュツ

「本当なんですけどー」

「馬路ですかー？」

「ほんとーでーーす！！！！！！！」

「俺も好きでーーす！！！！」

「ん、知ってた」

「知ってたのかよ！！！！！！」

「バレバレじゃん？」

「あー……」

「でも、いいじゃん」

「まー……」

「あたし、ヒロの背中好き」

「自転車の後ろ？」

「そう!！」

「でも、これからは見せねえよ」

「なんで?」

「横で手え繋いで歩きたいから」

「あたし、それがいい!！」

それにブレーキかけなくツたつて
ゆっくり歩いてくんだから……

この長い長い下り坂を
君を自転車??

違う違う……

コレでしょ

やさしく降り注ぐ木漏れ日が
まだらに君を照らす
今 僕たちは

同じ歩幅で 見慣れた街ただ歩いてゆく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2451a/>

自転車

2010年10月13日02時26分発行